

履修単位と学修単位について

本校の授業時間は1コマ90分（これを2時間と数えます）で実施しています。しかし、授業時間数が同じでも単位数が異なる科目があります。以下に履修単位と学修単位について説明します。

1. 履修単位（講義および演習、実験・実習等）

通常の科目は「履修単位」と呼ばれる科目です。履修単位の科目では30時間の授業（半期で1コマ）で1単位とします。通年で1コマの授業であれば2単位となります。

2. 学修単位（講義および演習）

「学修単位」と呼ばれる科目は、大学等と同様の考え方に基づく科目です。学修単位の科目では15時間から30時間の授業に30時間から15時間の自学自習（事前学習・事後学習）を合わせ、合計45時間で1単位とします。例えば、授業時間を15時間、自学自習の時間を30時間に設定した授業は、半期1コマの実施で2単位となります。本校では4,5年生の選択科目で設定されています。時間設定についてはシラバスを参照してください。（※1）

履修単位科目と比較すると、学修単位科目では少ない授業時間で同じ単位数が認定されますが、授業時間以外の自学自習時間を多く必要とします。各授業の最初の時間に、担当教員からシラバスに基づき説明がありますので、学生の皆さんはこのことを踏まえて学習を進めてください。

各科目が学修単位であるか履修単位であるかは、シラバスに記載されています。また、学生便覧の教育課程表では、備考欄に「※」がついている科目が学修単位科目となります。

※1 学修単位における時間設定（45時間の内訳）について

原則として、授業時間15時間＋自学自習時間30時間＝45時間で設定していますが、一部科目で異なる場合があります。シラバス等で確認してください。